関内・弘明寺エリアのビルに入居する、 アーティストやクリエイターの活動をご紹介! まちづくり、建築、アート、食など、 さまざまなスペシャリティをもつ入居者たちの活動です。

SOCIAL

明蓬館高等学校 横浜・関内 中等部 豪生ビル 日野公三



Matterport による

店舗・建物の3Dスキャンサービス

トキワビルにオフィスを構える株

式会社ブリッヂでは、施設内部を

3Dスキャンすることで、360度見

渡せるバーチャルツアーと施設の

3Dモデルを作成できる撮影サー

ビスの提供を開始しました。バー

チャルショップ・展示会の作成、

建築物のアーカイブなど、要望に

応じてご利用いただけます。

トキワビル 株式会社ブリッヂ 加藤健輔

泰生ビルの明蓬館高等学校 横浜 関内中等部は、かけがえのない中学 時代に「あるものをなくさない」こと を目指す通信制中学のパイロット・ プロジェクトです。通信制の強みを 生かして、学業から離脱する中学生 の自己肯定感を下げることなく、高校 までサポートを続けていきます。20 22年度も新入生を募集中。info@atmhk.jp (明蓬館高等学校中等部 入学 相談室/事務局)までお気軽にお問 い合わせください。

関内外 OPEN!13で お披露目した担ぎ屋台

泰生ビルの自在関内オ フィスを拠点に活動して いる一般社団法人から こそBOXでは、昨年か ら関内地域をはじめ、各 地域に出向いて、美味 しいコーヒーやお菓子 を積んだ屋台カフェに よる移動型の居場所を 提供する試みを行って



います。こんなコロナ禍だ"からこそ"、わたしたちだ"からこそ"の心地よい 場を提供したいと考えています。お力を貸してくださる方を大募集中です!

屋台カフェ 暴生ビル 一般社団法人からこそBOX

ART」 渡辺篤/アートスタジオ アイムヒア アイムヒア プロジェク ト《月はまた昇る(プ ロジェクト「同じ月を 見た日」より)》(ビデオ

インスタレーション R16 studio、2021 年)の展示風景 月の写真提供:プロジェクトメンバー 写真:井上桂佑

アイムヒア プロジ ェクト「同じ月を 見た日」展(R16 の展示風景 写真: 井上桂佑



弘明寺・GM2ビルに入居するアーティストの渡辺篤 さん。今年度は、ひきこもりをはじめコロナ禍で孤 立する国内外のさまざまな人と協働し、孤独/孤立 にまつわる社会課題に取り組むアートプロジェクトを 複数進めてきました。「同じ月を見た日」は、あいち 2022や瀬戸内国際芸術祭への参加を控えています。 ARCHITECTURE **AKINAI GARDEN**

水谷ビル 梅村陽一郎

AKINAI GARDEN STUDIOは、弘明寺・水谷ビル で商い暮らしをテーマにしたシェア店舗「アキナイ ガーデン」を企画・設計・運営中。「暮らしに、ち ょっと特別な感動体験を。」をモットーに、建築設計 デザインから家具やインテリアまで、あらゆる要素 に対して独自の視座を持ち空間デザインに取り組 んでいます。





ふりかえるジンジャ

STUDIO

神

×

4

YADOK

今後イベ

|に加えて、

生活の1コマをイラストで。 vol.4はシンコービルに入居する 「tenjishitsu:Tür aus Holz 常盤町」の内藤ハルカさん。



2022年1月下旬に根岸森林公園にて拾った落ち葉をスケッチ。パター ンにしようと試行錯誤してできた一枚です。骨董市で買った、升目の ある古い算数のノートに描いています。

ります! ■年度のできごとを

今後は、コロナ禍で大切にす

ナリノクリエイター

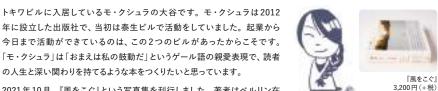
最近の仕事や考えていることでつなぐリレーコラム

THE RESERVE TO SERVE

返 2 ナ り 1 l

弊社のように自由にリノベ

大谷薫子さん



2021年10月、『風をこぐ』という写真集を刊行しました。著者はベルリン在 住の写真家・橋本貴雄さん。この写真集には、橋本さんが2005年に福岡 の路上で保護した一匹の犬 (フウ) の姿が映し出されています。橋本さんは フウと福岡から大阪、東京、ベルリンに渡り12年間をともにくらしました。フウ が死んだとき、橋本さんの手元に残ったフウの写真は1万枚以上あったそう です。ひとりと一匹がともに過ごした12年間という時間の厚みや親密な距離 を本に宿したい ― 本づくりの過程では、その物理的なかたち(本の厚さや 大きさ)を著者、デザイナー、編集者で探りました。定価や管理、流通(たと えばクリックポストは1kg、厚さ3センチまで)といった制約のなかで正しいか たちを目指します。結果、写真集はA5版ヨコ変形・312頁=厚み2.6ミリ、 重さ600グラムになりました。「紙の本」をつくることは、本の内側で語られる 世界の実存を、かたちあるものとして生み出すことでもあると思っています。

の人生と深い関わりを持てるような本をつくりたいと思っています。



大谷薫子(オオタニ・カオルコ)/編集者。大学卒業後、映画の専門出版社、フィルムアート社にて書籍編集を学ぶ。2012年にモ・クシュラ株式

今井嘉江さん (アートスペース「と」関内/自在関内オフィス)



取材・文・編集:白尾芽(voids)/写真:加藤甫

石川町から関内へ、思いを受け継いでつくる居場所

ス」を構え、現在は「アートスペース『と』関 内」としても活動している。泰生ビルに入居 したのは約10年前。「青少年・子育て支援の 事業を支えてくれたアーティストたちにお 返しをしたい」という思いから、作業用のス ペースや茶室も備えたアトリエ・ギャラリーと して自在関内オフィスを開いた。

2012年には元々駄菓子屋だった実家を改装 し、石川町にひらがな商店街アートスペース 「と」をオープン。ここでは、さまざまな困難 を抱える青少年やその保護者に向けたプロ ジェクト「つきしみの学校」も生まれた。学習

今井嘉江さんは泰生ビルに「自在関内オフィ 支援だけでなく、学校や家庭とは異なるサー ドプレイスとしての居場所となることを目指 して、現在も瀧脇信さん、林北斗さんが活動 を引き継いでいる。

> 昨年の泰生ビルへの移転後は、コロナ禍で活 動の制限もあったが、ひとり親家庭や外国籍 の子どもたちの家庭を中心に野菜を届ける など地道な活動を続けている。アートやまち づくりという一言では括れないほど、さまざ まな方法で人々のコミュニケーションを生み 出してきた今井さん。世代を越えてバトンを つなぎ、これからも誰かの心の拠りどころと なる場所が生まれていく。

クリエイティブ最大化共創型コリビング「ニュ 社

GM2ビルの1フロアをリノベーションし、選抜制・1年 間で卒業のクリエイティブ最大化共創型コリビング「ニュ ーヤンキーノタムロバ」がオープン! 設計はAKINAI GARDEN STUDIO、修悦体を散りばめたグラフィック デザインは峯山裕太郎(SPONG)さんが手がけました。 働き方改革やコロナ禍の影響を背景に、次世代の「ニュ ーヤンキー」の姿を新たに定義し、それぞれの個性で社会 に挑戦できる拠点づくりを目指します。

入居するのは選ばれた13名と、暮らしをサポートし仕掛 け人となるコミュニティビルダー。「いい屯い方」を生む ユニークな空間や、YADOKARIに人生相談ができる 「タイマン制度」、1年間磨き上げたクリエイティブを思い きり表現する集大成となるイベント「ゼロフェス」など、さま ざまな企画・発信を行っていきます。



TAIYUSHA N E W S

街の未来を考える http://taiyusha.co.jp/

伝える「泰有通信 vol.5」をお楽

関内・弘明寺エリアのいま

ナーズアイ」などをお届け。

が1年をふりかえる

で続く「トナリノクリエイター」 する「イラストコラム」、リレー た活動情報「INFORMATION」

入居者が日常の|瞬を共有

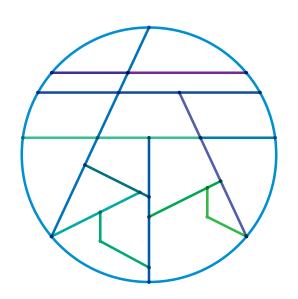
・クリエイターから寄せられ

のほかには、

入居ア

通

泰有社が発行する創造拠点の最新ニュース



今回は、 弘明寺で起こった新 渡辺篤さんへのインタビュー 現代美術作家の小泉明郎さん・ ビルをアトリエとして利用する もつ弘明寺を特集! 月から始動する「ニュー ノタムロバ」など、 私たちが3つの拠点を たな動き 今年度の G M 2

根ざして行わ れた新たな活動 Wol. 5では、

の働き方や生活スタイルを大き 変えました。 した状況のなかでも、 コロナ禍は私たち

泰有通信では入居アーティス づくりに取り組んできました。 ・クリエイターの活動を紹介 コミュニティをはぐくむまち 私たちは不動産事業をとおし

弘明寺から発信するアート



GM2ビル

取材・文・編集:白尾芽(voids)/写真:大野隆介

小泉明郎さん・渡辺篤さん

小泉明郎[こいずみ・めいろう]

1976年群馬県生まれ、横浜市在住。映像、VR、パフォ ーマンスによる作品を発表。主な個展に「バトルランズ」 (ミネアポリス・インスティテュート・オブ・ファイン アーツ、2019年)、グループ展に「あいちトリエンナーレ 2019」など。2021年に「Artes Mundi Prize」(英国)、 「文化庁メディア芸術祭アート部門大賞」を受賞。

渡辺篤[わたなべ・あつし]

現代美術家。「ひきこもり」にまつわる課題をテーマに、 当事者や、コロナ禍に孤立感を抱く人々ともにプロジェ クトを実施。近年の主な展覧会に「同じ月を見た日」 (R16 studio, 2021年)、「修復のモニュメント」(Ban ART SILK、2020年) など。メディア出演や講演・執筆 4. 8数。現在、武蔵野美術大学非常勤講師。

GM2ビルでは、現代美術作家の小泉明郎さ んと渡辺篤さんが2021年6月からアトリエ 利用を始めた。

自身もひきこもり当事者としての経験を持ち、 それを作品化してきた渡辺さん。コロナ禍で スタートしたプロジェクト「同じ月を見た日」 では、あらためて"他者"の存在を想像する ための媒介として、月というモチーフを選んだ。

「コロナ禍で外に出られなかったとき、昔の 自分や同じ境遇にある人たちのことを考え はじめました。ひきこもりや心身の障害によ って他者と対面する不可能性が高い人たち も、きっとそれぞれの場所から月を見ている」。 また現在は、フロアの半分をオルタナティブ スペースとして運用するために、2022年中の オープンに向けて改装を進めている。

小泉さんは映像など複数のメディアを用い て、国家や共同体と個人の関係、人間の身 体と感情の関係を探求している。近年はVR 作品も多く手がけ、《縛られたプロメテウス》 (2019) は大きな反響を呼んだ。「デジタル を介して人と人の関係をつくってみたいと思 っています。 VR は脳をだましているだけで、 そこに見えるものは何も存在しない。それが どんな可能性を持っているのか/持っていな いのかを考えていきたいです」。取材時のア トリエは改装中で、所々にスーパーだった当 時の面影が残っていた。コロナ禍で活動に 制約を受けたからこそ、場所も新たに表現の 方法を模索しているという。

弘明寺には、人々の関係性が生み出す自由 な空気があると語る二人。だからこそ、そこ にアートを持ち込むことの可能性も感じてい る。「妥協しないものを発表することで、まち にギャップを生み出し、新しい変化を起こす ことができるのではないかと考えています」 と小泉さん。渡辺さんは「場所を開いていく ことがここでの自分の役割だと思います。 すぐにはお金の価値に直結しないものもまち にとっては大切ですよね | と語る。広い空間 はアーティストの世界観を広げるためにも重 要なもの。これから「まちの余白」として外 にスペースをひらいていく活動に期待が高 まる。



GM2ビル2階、 渡辺さんの「アートスタジオ アイムヒア」

アトリエで制作したという 渡辺さんの作品《Your Moon》(2021)





3階、改装中の 小泉さんのアトリエ

水谷マンションオープンデー

取材・文:齊藤真菜/写真:大野隆介/



豊 か な若手建築家

水谷ビルでは、2018年に入居開始した「水谷基地」、翌年オープンした「アキ ナイガーデン」に加えて新たな住空間が誕生。10月に開催されたオープン デーの模様をレポートする。

204号室「水谷基地」は、オンデザインと4kadoが設計し、水谷マンション に新たな流れができるきっかけとなったシェアハウスだ。現在は各住人の 生活が少しずつ玄関先ににじみ出て、個性豊かな"路地"が生まれている。

AKINAI GARDEN STUDIO (梅村陽一郎さん・神永侑子さん) が新たに設計 した309号室は、中央にシアタールームとしても使える"洞窟"があり、明暗が 共存する空間になっている。「窓のない中央の部屋をどうしようか考えたとき に、その暗さを生かして生活のなかに取り込むことで、メリハリを付けようと 思いました」と神永さん。

302号室は、Studio on_site の森詩央里さんが生活しながら作業をすすめる 「大地と育つ家」。自身で採取した牛糞などの自然素材を土壁に使用し、 「自分らしい生き方・暮らし方」を素材づくりの段階から体現している。建築 家が住みながら手を加えたりメンテナンスしたりする様子からは、それぞれ の建物との向き合い方を垣間見ることができた。



309号室 洞窟のある家

の

0



日時:2021年10月16日(土)10:00~18:00 会場:水谷ビル 105・204・302・307・309 号室

アートスタジオ アイムヒア GM2ビル 取材・文: 中村元哉 (voids) /写真: 大野隆介/編集: 白尾芽 (voids)

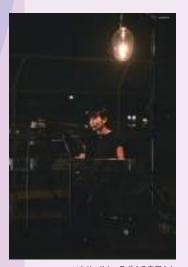
路上生活の経験者で構成されたダンスグループ・で社会から分断されたときの人間の弱さを感じ 新人Hソケリッサ!による「2021-2022 『路上の ていました。希望がないような状況だからこそ、 身体祭典H!』新人Hソケリッサ!横浜/東京路上 ダンスツアー」の初回公演が、10月にGM2ビル 今回の作品にしました」と語る。寺尾さんの曲で で開催された。

屋上では、シンガーソングライター・寺尾紗穂さん の演奏にあわせ、小道具やライティングを用いた 新作のダンス作品を上演。渡辺さんのプロジェ とか。 クト「同じ月を見た日」の作品が並ぶアトリエで は三者のコラボレーションのほか、トークイベントダンス、音楽、アートが一体となった秋の一夜。 が行われた。

ソケリッサ主宰のアオキ裕キさんは、「コロナ禍 られた。

身体が引き立つのではないか――そんな思いを 踊るソケリッサの作品を見て両者のファンになった という渡辺さんは、作品をつくるうえで、ダンサ ーたちの身体の癖や体型などの個性を尊重する 青木さんの姿勢にインスピレーションを得たのだ

ダンスの振りとして幾度も表れていた何かを掴み 取るような動きには、生きることへの欲望が感じ



ソケリッサとコラボする寺尾さん





アートスタジオ アイムヒアでのトークの様子

日時:2021年10月10日(日)18:00~20:30 会場:アートスタジオ アイムヒア 今後の公演情報はこちらから: https://sokerissa.net/schedules

路上生活経験者たちが織りなす身体の祭典